

2026年3月27日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

日本公庫総研レポート No.2026-1

『異業種連携で成長する中小企業』を発行

日本政策金融公庫総合研究所は日本公庫総研レポート No. 2026-1『異業種連携で成長する中小企業』を発行しました。

企業間連携は利用可能な経営資源に限られる中小企業にとって重要な取り組みです。とりわけ異業種連携は市場のニーズに迅速かつ柔軟に応え、新たな製品やサービスを開発する手段になり得ます。本レポートでは、異業種連携で新たな製品を開発し、成長につなげた中小企業の事例を調査し、連携を円滑に進めるポイントと効果をまとめました。

【本レポートの概要】

1 連携を円滑に進める三つのポイント

事例企業は、①支援機関の活用により連携相手と出会うこと、②定期的な意見交換で信頼関係を構築すること、③役割分担を明確にして得意分野を生かすことで円滑な連携につなげていました。

2 連携の効果

異業種連携による効果は、連携から得た知識や技術を生かした新たな事業機会の創出や開発中に生じる問題の解決を通じた対応力の向上が挙げられます。

連携を呼びかけた企業は、異業種の知識やノウハウを取り入れて、費用を抑えつつ高品質な製品の開発を実現しました。呼びかけに応じた企業は、既存取引先以外の業界の知識や技術を身につけることや、開発過程の改良で技術力を向上することができました。

【連携事例の概要】

連携のテーマ	企業名 ※呼びかけた企業に下線	概要
浄化槽の水質管理用IoTセンサーの開発	<u>(株)アースクリエイティブ</u> (山口県宇部市/浄化槽のメンテナンス)	(株)アースクリエイティブはインドネシアで浄化槽のメンテナンス事業を展開するため、遠隔で水質検査ができるIoTセンサーを(株)アート電子と連携して完成させた。
	(株)アート電子 (山口県周南市/電子機器等の製造)	
ガラスを使用した墓石の開発	<u>(株)沖セキ</u> (神奈川県川崎市/墓石用石材の販売等)	ガラス工房5社と研究会を設立。意見交換と実験を重ねて芸術性と耐久性を兼ね備えたガラスを開発し、特許を取得。2016年にガラス墓「 ^{カグラ} KAGLA」を発売し、2,000基以上設置されている。
	ガラス工房5社 (神奈川県川崎市)	
アスパラガス畝焼きバーナーの開発	(株)濱田製作所 (広島県呉市/農業機械の製造)	既存メーカーの廃業を機に、県からの相談を受けて3社が連携。地域に貢献したい思いから互いの強みを持ち寄り、火力や操作性に優れたバーナーを完成させた。
	ハマダベンディングサービス(株) (広島県呉市/鋼板加工)	
	藤原工業(株) (広島県東広島市/機械器具設置工事)	

※ 本レポートは、[こちら](#)でご覧になれます。

[バックナンバーはこちら](#)です。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第二グループ (担当: 吉原・青木・金子)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー TEL 03-3270-1269